

広島大学法科大学院

# 法律科目試験

## [憲法]

2019年8月24日(土)

13:20~14:20

### 注意事項

- 1 これは法律科目試験の問題冊子です。ページ数は、表紙を除いて、1ページです。
- 2 問題は1問、解答用紙は1枚、下書用紙は1枚です。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に**横書き**で書いてください。**罫線外および裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。**
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子および下書用紙は持ち帰ってください。

## 【憲法】（60点）

司法書士法（以下「法」という。）は、司法書士の業務の一つとして、登記手続の代理を挙げ（3条1項1号）、司法書士又は司法書士法人以外の者がこうした業務を行うことを禁止し（73条1項参照）、違反に対して罰則を設けている（78条1項）（法73条1項のうち、司法書士又は司法書士法人以外の者が登記手続の代理をすることを禁止した部分を、以下「本件規定」という。）。

本件規定に対してかねてより不満を抱いていた行政書士Yは、複数の依頼者の依頼を受けて不動産登記など10件の登記申請代理を行ったため、本件規定に違反したとして、法78条1項に基づき起訴された。

Yは、本件規定が憲法22条1項に違反する、また仮に本件規定自体は違憲ではないとしても、同規定をYに適用することが憲法22条1項に違反すると主張した。Yの主張の可否を検討しなさい。

なお、行政書士は、「他人の依頼を受け報酬を得て、官公署に提出する書類…その他権利義務又は事実証明に関する書類…を作成すること」（行政書士法1条の2）を主たる業務とする者である。また、法73条1項ただし書きの規定にもかかわらず、行政書士が登記手続の代理をすることを認めた法律の規定はない。

### [参考条文]

#### 司法書士法（抜粋）

##### （目的）

第1条 この法律は、司法書士の制度を定め、その業務の適正を図ることにより、登記、供託及び訴訟等に関する手続の適正かつ円滑な実施に資し、もつて国民の権利の保護に寄与することを目的とする。

##### （業務）

第3条 司法書士は、この法律の定めるところにより、他人の依頼を受けて、次に掲げる事務を行うことを業とする。

- 一 登記又は供託に関する手続について代理すること。

（第2号以下及び第2項以下省略）

##### （非司法書士等の取締り）

第73条 司法書士会に入会している司法書士又は司法書士法人でない者（協会を除く。）は、第3条第1項第1号から第5号までに規定する業務を行ってはならない。ただし、他の法律に別段の定めがある場合は、この限りでない。

（第2項以下省略）

第78条 第73条第1項の規定に違反した者は、1年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処する。

（第2項省略）

広島大学法科大学院

# 法律科目試験

## [刑法]

2019年8月24日(土)

14:40～15:40

### 注意事項

- 1 これは法律科目試験の問題冊子です。ページ数は、表紙を除いて、1ページです。
- 2 問題は1問、解答用紙は2枚、下書用紙は1枚です。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に**横書き**で書いてください。**罫線外および裏面を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。**
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 試験時間の途中で退室することはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子および下書用紙は持ち帰ってください。

**【刑法】**（60点）

次の事例を読んで、（1）および（2）に答えなさい。

Aは、恨みを抱いていたBを殺害しようと思い、空き地で、Bに向けて実弾が装てんされたけん銃の引き金を引いた。ところが事前の操作を誤っていたため弾が発射されず、けん銃を奪おうとしたBともみ合いとなり、Bにけん銃を取り上げられた。そこへたまたま通りかかったXは、けん銃を手にしていたBを見て、BがAを殺そうとしていると勘違いして、ちょうど足元にあったレンガ（長さ21センチメートル、幅10センチメートル、厚さ3センチメートルで重さ約1.2キログラム。）を拾ってBに向けて投げた。レンガはBの右腕に当たり、Bは加療約3週間の上腕骨折の傷害を負った。

（1）XがBに向けてレンガを投げて負傷させた行為に正当防衛が認められないことを説明しなさい。

（2）XがBに向けてレンガを投げて負傷させた行為が違法であることを前提として、故意責任を認めることができるか論じなさい。

広島大学法科大学院

# 法律科目試験

## [民法]

2019年8月24日(土)

16:00~18:10

### 注意事項

- 1 これは法律科目試験の問題冊子です。ページ数は、表紙を除いて、3ページです。
- 2 問題は民法3問、民事訴訟法1問、商法1問の計5問、解答用紙は民法3枚、民事訴訟法1枚、商法1枚、下書用紙は1枚です。解答用紙の記載を確認し、所定の解答用紙を使用してください。
- 3 解答は所定の解答用紙に**横書き**で書いてください。**罫線外および裏面**を使用してはいけません。なお、使用する筆記用具の指定はありません。
- 4 解答用紙の所定の箇所には、受験番号のみを記入してください。氏名を書いてはいけません。
- 5 配布した解答用紙は持ち出してはいけません。
- 6 17時00分以降18時00分までの間については、解答用紙を提出して退出することができます。退出後、受験室に戻ることはできません。
- 7 試験終了後、問題冊子および下書用紙は持ち帰ってください。

## 【民法】（８０点）

以下の文章を読んで、後記の【第１問】から【第３問】までに答えなさい。

AはBとの間で、２００７年７月７日、自己所有の甲土地をBに贈与する旨の契約を締結し、その旨を記載した書面を作成した。Aは、ただちに甲土地をBに引き渡したが、同年７月２４日、Bへの所有権移転登記を行う前に亡くなった。CはAの唯一の相続人であるが、Aを相続し、同年８月２０日、甲土地について相続を原因とするC名義の所有権移転登記を行った。

なお、Bは、Aから甲土地の贈与を受けた直後から現在（２０１９年８月２４日）に至るまで、甲土地上に乙建物を建築し、そこに居住し続けている。

### 【第１問】（２０点）

Bは、Cに対して、Aからの贈与によって甲土地の所有権を取得したことを主張したい。この主張が認められるかどうか、理由を付して論じなさい。

### 【第２問】（４０点）

Cは、Dに対して甲土地を売却し、D名義の所有権移転登記も行われた。Dは、Bが甲土地の贈与を受けて、そこに居住し続けている経緯や事情を全く知らなかった。

Bは、Cから甲土地の売却を受けたDに対して、取得時効によって、甲土地の所有権を取得したことを主張したい。この主張が認められるかどうか、上記のCからDへの甲土地の売却が、①２０１５年５月５日であった場合と、②２０１８年８月８日であった場合とに分けて、それぞれ理由を付して論じなさい。

### 【第３問】（２０点）

Cは、２０１８年８月８日、Dに対して甲土地を売却し、D名義の所有権移転登記も行われた。DがCから甲土地の売却を受けたのは周辺不動産の価格高騰を好機とみた投機目的であった。Dは、甲土地の購入時に、Bによる甲土地の利用は知っていたが、すぐに転売するつもりであったので特に調査することはなく、DからBへの照会等も行われなかった。Dは、甲土地上の乙建物の築年数等の現況をみて、Bが長年にわたって甲土地を利用していることは認識していた。また、もしもBが甲土地について何か言ってきたらBに買値の倍の値段で買い取らせてやろうと考えていた。

Bは、Cから甲土地の売却を受けたDに対して、取得時効によって、甲土地の所有権を取得したことを主張したい。この主張が認められるかどうか、理由を付して論じなさい。

**【民事訴訟法】**（30点）

Xは、「Zに300万円を貸与したが、返済期限が過ぎてもZが返済しない。」と主張して、Zの貸金債務の連帯保証人Yに対し、300万円の支払を求める訴えを提起した。

Xの提訴を知ったZは、Yに補助参加して、貸金債務の弁済を主張した。しかし、裁判所は、貸金債務の弁済を認めず、Yに300万円の支払を命じる判決をし、この判決が確定した。

この確定判決は、誰と誰との間で、どのような効力を生じるか、説明しなさい。

## 【商法】（30点）

会社法上の公開会社であるP株式会社（発行可能株式総数1万株，発行済株式総数4000株。種類株式発行会社ではない。）の代表取締役Aは，募集新株式2000株を取引先であるQ株式会社にすべて割り当て，1株1000円で発行した。P社の株式の1株当たりの価値は，この新株発行の前は，1株1万円であったが，この新株発行により，1株7000円に下落した。

この新株発行について，取締役会の決議，新株発行の公示は適法になされているが，株主総会の決議はなされていない。

P社の株式1000株を5年前から保有するBは，Q社およびAの責任を追及するために，会社法上どのような請求をすることができるか，説明しなさい。